図書館の窓から

10
2011.10
No.134

（アネモネ　田中 玉蘭／画）

【特集記事】

◆私の一冊
㈱新潟日報社　長岡支社長　中村 正実さん …… ３ｐ

◆詩人 堀口大學とふるさと長岡
長岡との関係を中心に堀口大學を紹介 …… ４～５ｐ

DATE　２３・１０・１

館長通信

～ 喜びと感動を図書館で ～

猛暑と豪雨がセットになった激しい夏が、いつの間にか過ぎ去りました。

この夏、節電・ピークカット対策として、当市では「夏のおでかけキャンペーン」を実施しました。暑い夏を市の施設で快適に過ごしていただこうというもので、当館も大勢の皆様から御利用いただきました。

２階の講座室１（最大40席）を自習室として開放していますが、行事等で使用できない日があります。せめて夏休み期間だけでも常時使用ができるように、２階のロビーにテーブルを最大９脚（18席）設置しました。連日、小学生から大人まで多くの方が、静かに自習をされていました。

そして、今は秋。読書をするには快適な季節となりました。

最近の傾向として、館内で読みたい本を手に取り、ゆっくりと読書を楽しんだ後、借りずにお帰りになる50代後半から60代の男性が増えているように思います。

ずらっと並んだ本を前にして、何気なく眼にとまった本を手に取り、一気に読み進める至福のひととき。来館の皆様に、そんな喜びと感動を与える、魅力的な書架づくりと室内環境を築いていきたいと思います。

小倉 進

文書資料室だより

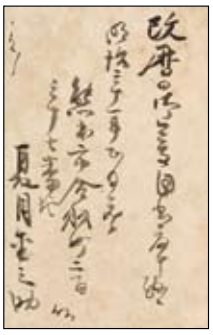
夏目漱石からの年賀状

旧制長岡中学校（現県立長岡高等学校）第15代校長で、『郷土長岡を創った人びと』でも取り上げられている坂牧善辰に宛てた夏目漱石書簡３点が、平成23年４月にご子孫から長岡市立中央図書館へ寄贈されました。

坂牧善辰（1868～1936）は古志郡荷頃村（小千谷市）の平沢家に生まれ、明治12年（1879）に古志郡種苧原村（山古志地域）の坂牧善作の養子となります。明治27年に東京帝国大学文科大学哲学科を卒業。一つ年上で英文学科に在籍した夏目漱石（1867～1916）との交友は、帝大時代に始まりました。

年賀状は、明治30年と明治33年のものです。このころ、善辰は鎌倉円覚寺の両山普通教校の、漱石は熊本の第五高等学校の教壇に立っていました。郷里を離れて英語を教えるという共通点が、二人を結びつけていたのでしょうか。その後、郷里へ戻った善辰は、明治34年から同39年まで旧制長岡中学校の校長をつとめます。一方、漱石は海外留学を経て、東京へ戻り、明治38年に『我輩は猫である』を発表し、文壇に登場します。漱石の小説『野分』（明治40年発表）の主人公・白井道也は、校長時代の善辰をモデルにしたといわれています。

年賀状は、いずれも新年のあいさつ程度の内容です。二人の交友を知るための資料も、多く残されていません。このたび寄贈された漱石が善辰を松山中学の教員に誘うもう１点の書簡（明治29年）の検討や、長岡市が保存する坂牧家文書の分析から、日本を代表する文豪と長岡との新たな結びつきがあきらかになるかもしれません。



夏目漱石の年賀状
（明治30年、坂牧善辰宛）

（田中 洋史）

私の一冊

㈱新潟日報社 長岡支社長

中村 正実 さん

新聞は記事だけでありません。広告も有用な情報で、よく目を通します。仕事からして当然かもしれませんが、そんな中で最近出合ったのが『反戦川柳作家　鶴彬』です。広告に掲載された書は今流のビジュアルな編集で馴染めず、近くにあった書の方がいいかなと思え、購入し一気に読みました。

鶴彬（つる・あきら）という川柳作家がいたことを知ったのは初めて。出版社の名前も初めて。でも、未知との遭遇をわれらが新聞が仲介してくれたとうれしくなりました。

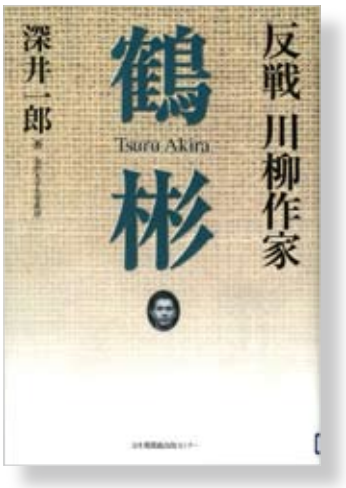
鶴彬は1909（明治42）年、石川県の生まれ。15歳の時から同県の北国新聞柳壇に投句開始。プロレタリア川柳の道を歩み、「川柳人」弾圧事件で獄につながれ赤痢に。1938（昭和13）年、29歳で死去。今でも地元だけでなく柳壇の評価は高く、生誕100年の記念映画も制作されたようです。

創作期は治安維持法成立、金融恐慌、満州事変勃発、ヒットラー内閣発足、国際連盟脱退、日中戦争開始、国家総動員法施行などと重なります。そんな中で新たな川柳の道を先鋭的に突き進んだと知りました。

「海に充つ野に満つ街にみつ鎖」「暁を抱いて闇にゐる蕾」「稼ぎ手を殺してならぬ千人針」「タマ除けを生めよ殖やせよ勲章やらう」「胎内の動きを知るころ骨（こつ）がつき」

以上はごく一部の作品の紹介ですが、いずれも表現は分かりやすいと思います。戦争中にこんな柳人がいたとは驚きです。書の中で現代の川柳作家、時実新子が「評価はあなたのご自由。ただ、川柳の流れの中にこのような人もいたのだということを記憶してくだされればよい」と言っています。同感です。

郷土長岡は反戦平和を誓う地だと思っています。よろしければ、ご一読を。



『反戦川柳作家　鶴彬』
深井 一郎／著
日本機関紙出版センター

本の案内人

＜なかむら　まさみ＞
1951年　長岡市（旧三島町）生まれ
1974年　（株）新潟日報社入社
2010年　長岡支社長に就任
２度目の故郷長岡勤務。「長岡の大応援団の１人」を自認。

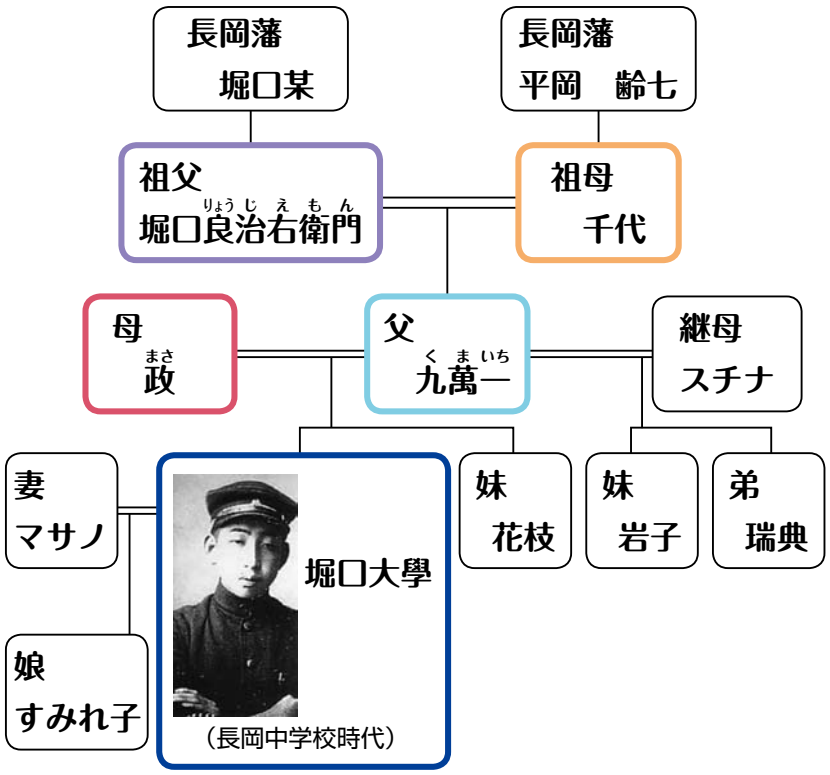
詩人堀口大學とふるさと長岡

堀口大學コレクションより

長岡ゆかりの詩人・フランス文学者の堀口大學生誕120年を迎えるにあたり、長岡市立中央図書館では大學の生涯と作品を紹介する展覧会を開催します。当館が誇る「堀口大學コレクション」を中心に、普段なかなか見ることのできない貴重な関連資料を多数展示します。(会期：平成23年10月９日(日)～10月30日(日))

ここでは、堀口大學とふるさと長岡との関係を中心にご紹介します。

堀口大學　家系図



祖父・堀口良治右衛門　長岡藩　足軽

- 180cm近い大男で、大食いで有名。当時の大食いは一種の芸であり、近隣諸藩との大食い競争では代表選手を務め、一度も敗れなかったという。
- 戊辰戦争の際、長岡城奪還作戦で若くして戦死。

祖母・千代　働き者

- 戊辰戦争で夫を亡くし、女手１つで幼い九萬一を育て上げる。
- 機織の技術を習得し布を売って生計を立てる。
- 大學の母・政が亡くなってからは、幼い大學を育て上げる。
- 大學17歳の時、千代が亡くなる。納骨の際に立ち寄った書店で吉井勇の短歌に出会い、大學は文学の道へ進むことになる。

母・政　若くして病死

- 11歳の時、九萬一に見初められ婚約。
- 結婚後、大學を出産。
- 若くして病死。夫・九萬一が外国での事件に巻き込まれていたため、まだ３歳の大學が喪主をつとめる。後に大學は詩「母を焼く」を書いている。

○父・九萬一も実はすごい人

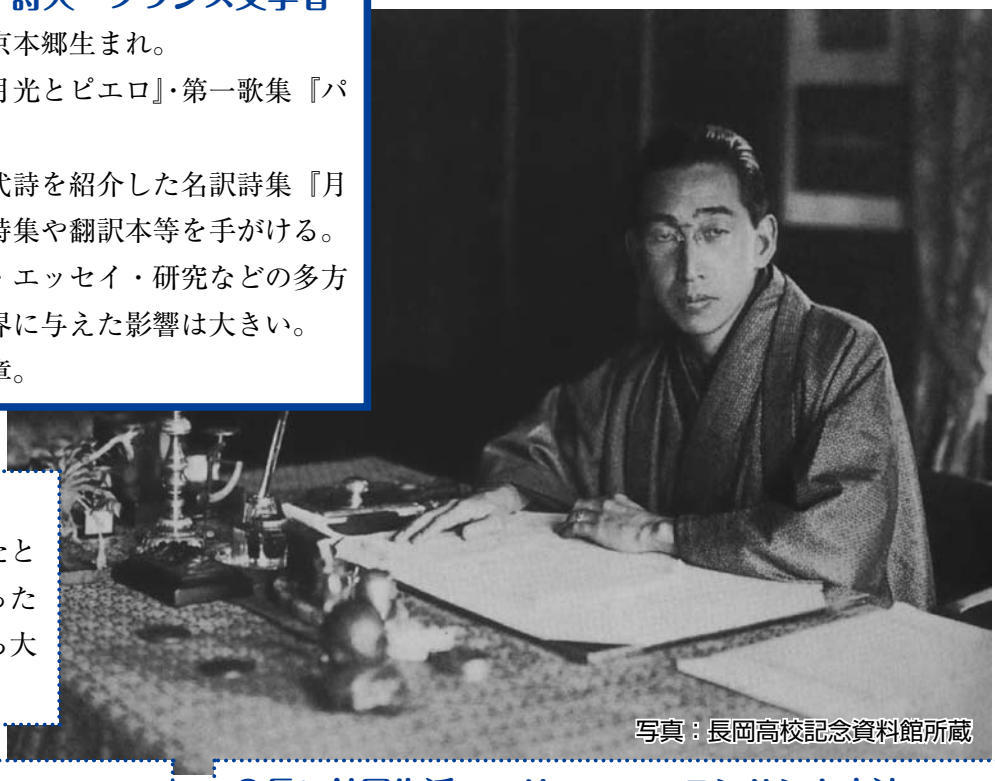
『敗れし國の秋のはて　評伝堀口九萬一』
柏倉 康夫／著　左右社

父・九萬一　漢詩を愛するエリート外交官

- 愛宕町に生まれる。阪之上小学校で神童ぶりを発揮。
- 14歳で川口小学校や和南津小学校で教鞭をとる。
- 小林虎三郎の弟雄七郎に洋学を勧められ、英語を学ぶために旧制長岡中学校（現県立長岡高等学校）入学。
- 司法省法学校（後の東大法学部）入学。
- 江坂政と結婚し、長男誕生。大學と名付ける。
- 東京帝国大学法学部卒業。難関の第一回外交官試験にみごと合格。
- 外交官として各国へ赴任。赴任先へ大學を呼び寄せる。
- 妻・政と死別後、ベルギー人女性と再婚。
- 退職後は、全国を講演でまわり、執筆活動に取り組む。
- 長岡空襲により空が真っ赤に染まる様子を、滞在していた大湯温泉から目撃。

堀口大學（1892−1981） 詩人・フランス文学者

- 明治25年（1892）１月８日東京本郷生まれ。
- 大正８年（1919）第一詩集『月光とピエロ』･第一歌集『パンの笛』を刊行。
- 大正14年（1925）フランス現代詩を紹介した名訳詩集『月下の一群』をはじめ、多くの詩集や翻訳本等を手がける。
- 詩・短歌・翻訳以外にも評論・エッセイ・研究などの多方面で活躍。日本の詩壇や文学界に与えた影響は大きい。
- 昭和54年（1979）文化勲章受章。



写真：長岡高校記念資料館所蔵

●“大學”は本名？

堀口大學は本名です。生まれたときの住居が東京大学赤門前であったことと、父が学生だったことから大學と名づけられました。

●長岡で子ども時代をすごす

大學は２歳から17歳で旧制長岡中学校を卒業するまでの15年間、長岡の東神田や坂之上町に住んでいました。

３歳で母を亡くすなど、多感な幼少年期をすごした長岡は、大學にとって思い出深い特別な地であったそうです。

●小説家・松岡譲と同級生

後に小説家となり夏目漱石から「越後の哲学者」と呼ばれた松岡譲とは、長岡中学校の同級生です。二人は、成績順の座席で隣同士でした。

●長い外国生活。マリー・ローランサンと交流

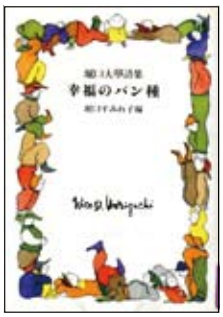
父の赴任地であるメキシコ・ベルギー・スペイン・ブラジル・ルーマニア等で約14年間生活。この間本格的にフランス語を学び、フランス文学に傾倒、詩作と翻訳にいそしむ日々を送っていました。女流画家マリー・ローランサンとは、スペインで出会い、絵の手ほどきを受けることもありました。

また、継母スチナがフランス語を話すベルギー人であったことも大學のフランス語習得に影響しました。

●身近なところでは、校歌の作詞

長岡高校第二校歌、神田小学校、上組小学校、附属長岡小学校など、県内の数多くの学校の校歌の詞を手がけました。校歌は今でも歌い継がれています。

○大學の詩の入門に最適



『幸福のパン種』

堀口 大學／著
堀口すみれ子／編
かまくら春秋社

○ルパンの翻訳も！

『ルパン傑作集』（全10巻）

モーリス・ルブラン／著
堀口 大學／訳
新潮社

○大學の人生を総まとめ

『堀口大學
詩は一生の長い道』

長谷川郁夫／著
河出書房新社

まだまだあります

『虹の館
父･堀口大學の想い出』
堀口すみれ子／著
かまくら春秋社

『日本の鶯　堀口大學聞書き』
関　容子／著　岩波書店

『黄昏の詩人
堀口大學とその父のこと』
工藤美代子／著　マガジンハウス

所蔵資料紹介　No.130　　勝　海舟　書　　五言絶句

勝海舟は文政６年（1823）の生まれで、名は義邦、のちに安芳、通称麟太郎と称しました。佐久間象山が彼のために書いた「海舟書屋」の額から海舟をとり、号としました。

海舟の父方の曽祖父は刈羽郡長島村から出た米山検校※銀一です。孫の小吉が旗本の勝元良の娘信に婿入りし、その長男として生まれたのが海舟です。

海舟は、蘭学・兵学等に秀い出、蕃所翻訳所に出仕し、万延元年（1860）咸臨丸を指揮して太平洋を横断、元治元年（1864）には海軍奉行となりました。明治維新において、西郷隆盛との会見の上、江戸城明け渡しに尽力したことは有名です。維新後、海軍大輔・枢密院顧問等々で、多くの功績を残しています。

紹介の漢詩は「優秀な先人はいずこに去ったことか、既に亡くなり呼んでも声はない。国家の治まるも乱れるも有能な人材いかんによる。今はただ、後生すなわち、後に生まれくる若い者に望みを託すのみ」と。歴史を通し、当時の国政の状況に思いを致して詠んだものと思われます。　　（今井 雄介）

※検校－盲人の官位の最高位

先哲何レノ處ニカ去ル
長眠喚ベドモ不レ醒メ
安危在リ二人材一ニ
望ヲ嘱スルハ只後生ノミ
海舟

先哲何れの処にか去る
長眠、喚べども醒めず
安危、人材に在り
望みを嘱するは只後生のみ

郷土資料紹介　読むタイムトラベル③　近世 in 越後

『百姓の江戸時代』
田中 圭一／著　筑摩書房

江戸時代の「士農工商」という身分制度に対する概念をすっかり変えてしまう１冊です。農民は土地を所有すること、さらには土地の売買も可能であり、農業経営をしながら醸造や織物といった他業に従事することもできました。幕府直轄領であった佐渡では、税制に不満を持つ農民の訴訟により佐渡奉行が解任されます。以後、税制は幕府と農民の代表との協議によって決定されるようになりました。後年、幕府が一方的に税制を変更した際には、怒った農民による一揆が起ったとのこと。農民パワー恐るべしです。

『越後長岡の江戸時代』
本山 幸一／著　高志書院

江戸時代、鎮守の祭りはお正月・お盆と並ぶ村人の楽しみであり、親交の場でした。祭りの日には、餅や赤飯を食べ、神社の境内で催される稚児舞や村芝居を観て出店を眺めました。操り人形の屋台や山車が出る村もあり、その楽しさは想像以上だったかもしれません。お盆には盆踊り、相撲、芝居などが行われ、さらには「にわか※」が町中に繰り出しました。長岡藩は、盆踊りの時期に何回か喧嘩口論や華美な服装、賑やかな催しを規制する触れ書きを出していますが、取り締まりはほとんど行われなかったようです。　　（徳永　馨）

※にわか－華美な衣装を身に着け、鳴り物を持った一団

集める

【あつめる】
collect

1：多くの人や物を一つのところにまとめる。
2：興味・関心などを引きつける。集中させる。

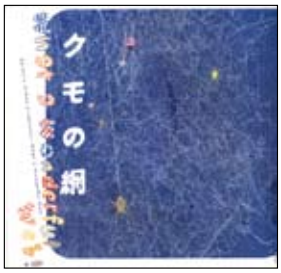
人はなぜコレクションをしたくなるのでしょう。

物を集める楽しみや喜びは密やかでありながらも他の何ものにも変えがたいもの。

他の人にとってはつまらないものでも、その人にとっては大切なコレクションなのです。

『切手帖とピンセット
1960年代グラフィック切手蒐集の愉しみ』
加藤 郁美／著　国書刊行会

ヨーロッパをはじめ世界各国の切手が所狭しと並んでいます。デザイン性の高さに目を奪われます。



『クモの網
What a Wonderful Web ！』
INAX出版

普段は邪魔なものとしか思えないクモの網も、収集家の手にかかれば立派なコレクションに。美しく張られたその姿は芸術的ともいえます。

『郵便局を訪ねて１万局
東へ西へ「郵ちゃん」が行く』
（光文社新書）
佐滝 剛弘／著　光文社

風景印を求めて全国津々浦々の郵便局を巡った著者の、どこかほっとさせられるルポ。旅先で郵便局に立ち寄りたくなってしまいそう。

『ぼくの宝物絵本』
穂村　弘／著　白泉社

歌人である著者が心をときめかせた絵本を紹介。独自の視点で語られた絵本は、思わず読んでみたくなるものばかり。大人を夢中にさせる絵本の世界に足を踏み入れてみませんか。

『駅弁掛け紙ものがたり
古今東西 日本を味わう旅』
上杉 剛嗣／著　けやき出版

たかが「掛け紙」とあなどるなかれ。駅弁の掛け紙が物語る歴史・文化・地域性の奥深さに触れることができる一冊。

『古道具ニコニコ堂の
なんとなくコレクション』
長嶋 康郎／著　新紀元社

著者の言葉を借りれば古道具屋に「居座ったものたち」が大集合。こんなものが売られているの!?と驚くこと間違いなし。

これも立派なコレクション!?

●空を見上げよう

『宙（ソラ）ノ名前』林　完次／写真・文　光琳社出版
『雲　造形美の競演』高橋 健司／著　誠文堂新光社
『星座の神話がわかる本』藤井　旭／著　誠文堂新光社

●はいはい撮りますよー。息すってー吐いてー（パシャッ）

『ホネ事典』スティーブ・パーカー／著　あすなろ書房
『小さな骨の動物園』INAX出版
『BONES　動物の骨格と機能美』
湯沢 英治／写真　東野 晃典／文・構成　早川書房

イベントガイド（10月～12月）　全て参加無料

【読者のつどい】　互尊文庫１階 児童室　19:00～20:30

テーマの本の感想を話し合い、人生観や文学論などを自由に語り合う会です。

10/28（金）『利休にたずねよ』　山本 兼一／著　　11/25（金）テーマ未定

【子どもの本を読む会】　中央図書館２階 講座室２　10:00～11:30

絵本が好きな方が集まって、本の感想や作家について語り合う会です。

10/12（水）科学絵本・読み物

11/9（水）昔話のストーリーテリングと絵本の読み聞かせの聞き比べ

12/14（水）冬に読みたくなる本

【映画会】　中央図書館２階 講堂　14:00～

10/10（月・祝）「めぐみ～引き裂かれた家族の30年～」　10/16（日）「巴里祭」

11/8（火）「ブーベの恋人」　11/27（日）「劇団四季ミュージカル　南十字星」

12/8（木）「真珠湾攻撃」※10:00～、14:00～の２回上映です。

12/25（日）「こどもにんぎょう劇場（世界編）」

【堀口大學生誕120年記念行事】　中央図書館２階

●「長岡ゆかりの詩人　堀口大學　生誕120年展」　美術センター

会期：10/9（日）～10/30（日）10:00～18:00（初日は13:30～）

●堀口すみれ子講演会「父が愛した長岡」　講堂

日時：10/9（日）14:00～15:30　　定員：180名（先着順）

申込：中央図書館窓口又は電話で受付

【文化講座】　中央図書館２階 講堂　14:00～15:30

来年の大河ドラマのテーマ“平家物語”について学びませんか。

日時：12/3（土）、12/17（土）全２回　　定員：180名（先着順）

講師：鈴木 孝庸さん（新潟大学人文学部　教授）

申込：11/12（土）から中央図書館窓口又は電話で受付開始

図書館ニュース

◆夏の図書館・・・

８月は、「夏のおでかけキャンペーン」などにより、大変大勢の方からご来館いただき、ピーク時は１日で約2,000人の来館があるなど、館内は盛況でした。

期間中、市内各図書館では、中学生以上の方を対象とした図書館業務体験を行いました。貸出・返却手続きや、本の整理などを体験した参加者からは、「図書館の仕事がこんなに大変だとは思わなかった。」「お客さんから“ありがとう”と言われ、とても嬉しかった。」「図書館の裏側を見ることができて楽しかった。」といった声が聞かれました。

栃尾美術館展覧会案内　※有料

どうぶつ家族　Mitsuaki Iwago Photographs
岩合光昭写真展「どこかでつながっている」

開催期間：10/8（土）～ 11/27（日）

世界中で生きる動物たちの姿や命の循環・つながりをテーマに、写真作品約140点を紹介します。

「ライオン・タンザニア」©Mitsuaki Iwago

～～～～ あとがき ～～～～

猛暑と雪の間の過ごしやすい季節、秋がやってきました。みなさんは何をしますか？スポーツ？食欲？たまには読書の秋、いかがでしょう。　（渡邉 恭子）

名　称	電　話	休　館　日
中央図書館	32-0658	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の末日　特別図書整理期間
互尊文庫	35-7981	毎週木曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の末日　特別図書整理期間
西地域図書館	27-4900	
南地域図書館	30-3501	
北地域図書館	22-7100	
中之島地域図書館	61-2165	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 毎月の末日　特別図書整理期間
寺泊地域図書館	75-5159	
寺泊地域図書館 大河津地区図書室	0256- 97-2497	
栃尾地域図書館	53-3005	
文書資料室	36-7832	互尊文庫と同じ
栃尾美術館	53-6300	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） ※展示替等による臨時休館あり

平成23年10月１日発行

編集・発行　長岡市立中央図書館

住　　所　新潟県長岡市学校町1-2-2

編 集 員　渡邉 恭子　渡辺 雄亮　山本 祐子
山田 紀子　岩本 純子　横山知加子

メールアドレス　lib@city.nagaoka.niigata.jp

HPアドレス　http：//www.lib.city.nagaoka.niigata.jp

印　　刷　北越印刷㈱